

平成30年度 三重県における高齢者虐待の状況について

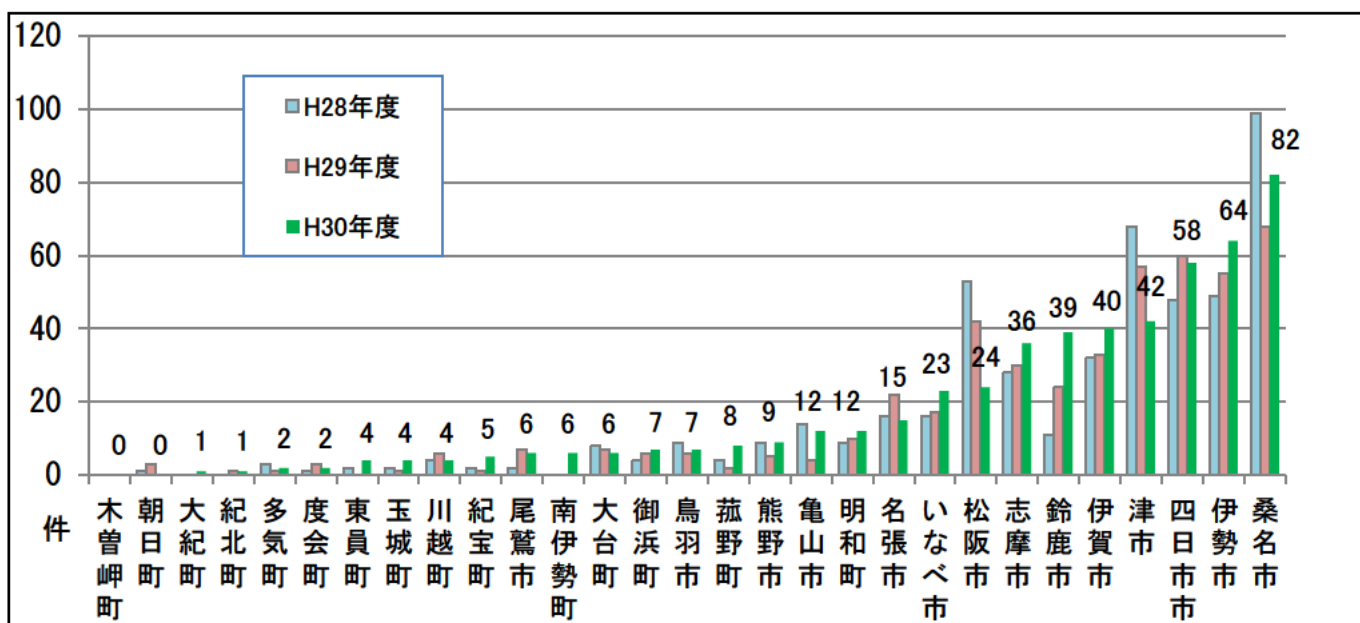
令和元年12月24日
三重県医療保健部長寿介護課

1 総論

(1) 各市町の相談・通報受理件数

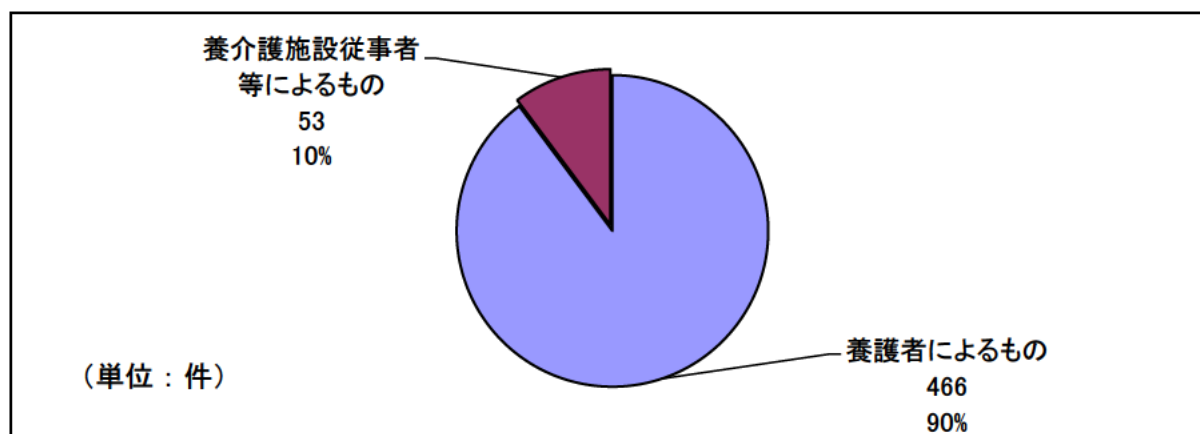
- ・ 県内の平成30年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数は、合計で519件でした。(平成29年度 471件、48件の増加)
- ・ 各市町の相談・通報受理件数の内訳は、次のとおりです(注1)。

図1-1 平成30年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数(市町別)



- ・ 相談・通報のうち、466件が養護者による虐待、53件が養介護施設従事者による虐待でした。

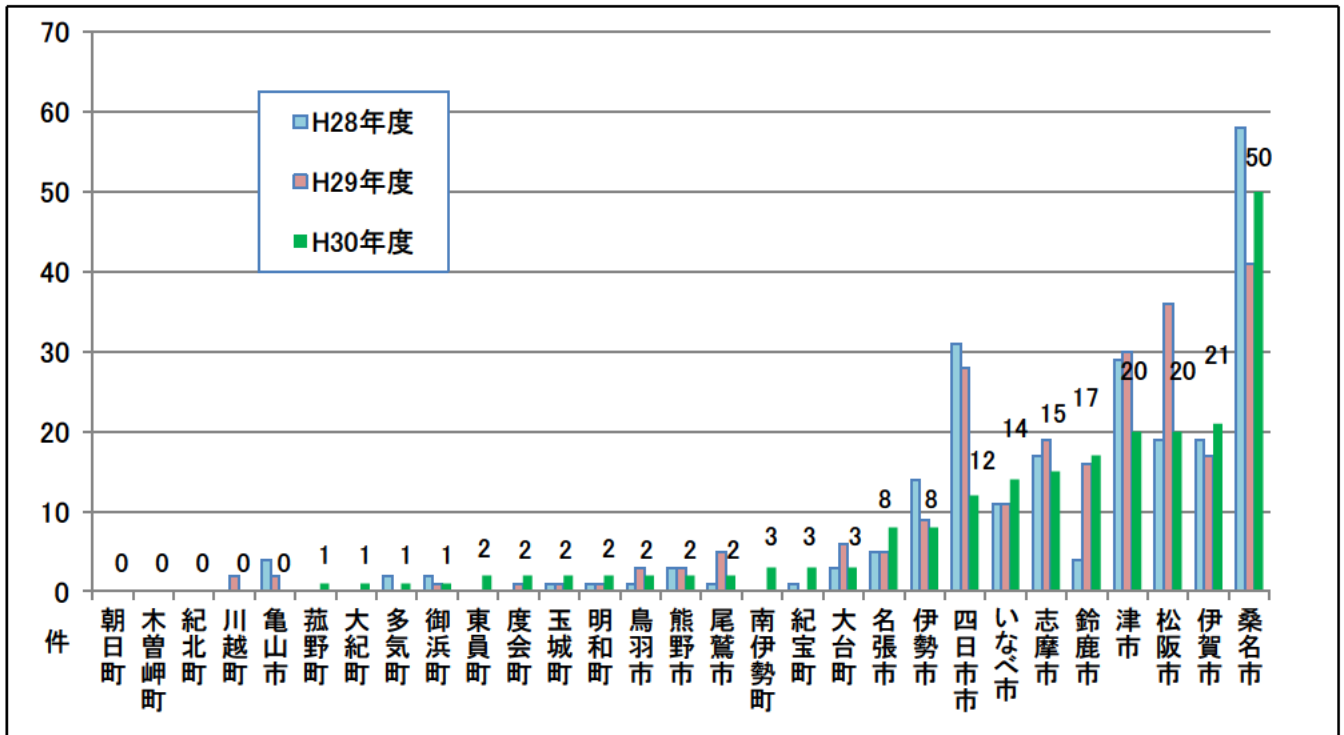
図1-2 平成30年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数の内訳



(2)各市町において虐待を受けたと判断した事例

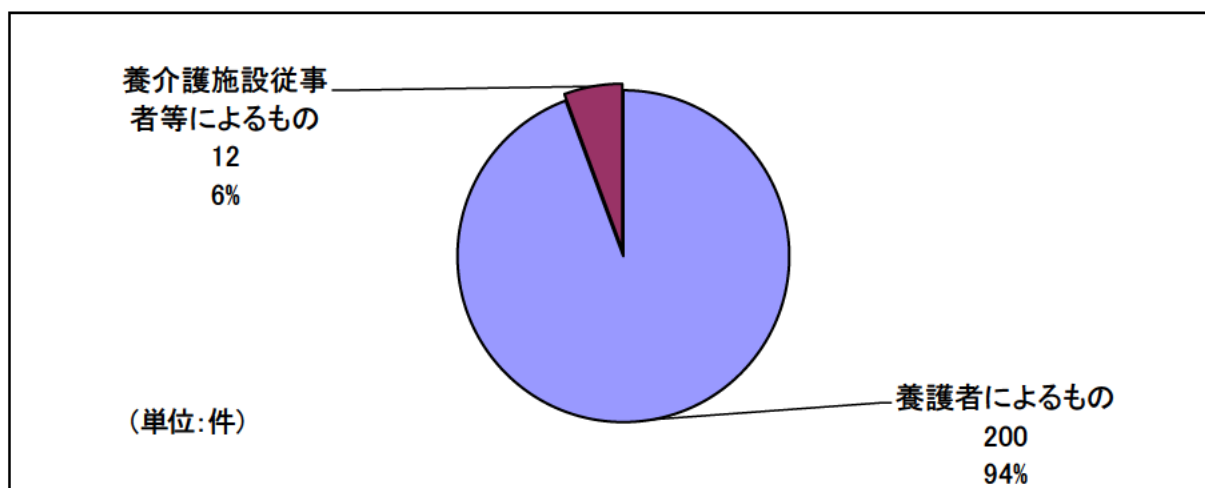
- ・ 県内の平成30年度中の高齢者虐待を受けたと判断した事例は、合計で212件でした。
 (平成29年度 237件、25件の減少)
 市町ごとの内訳は、次のとおりです。

図1-3 平成30年度中の高齢者虐待の認定件数(市町別)



- ・ 高齢者虐待を受けたと判断した事例のうち、200件が養護者による虐待、12件が養介護施設従事者等による虐待でした。

図1-4 平成30年度中の高齢者虐待の認定件数の内訳

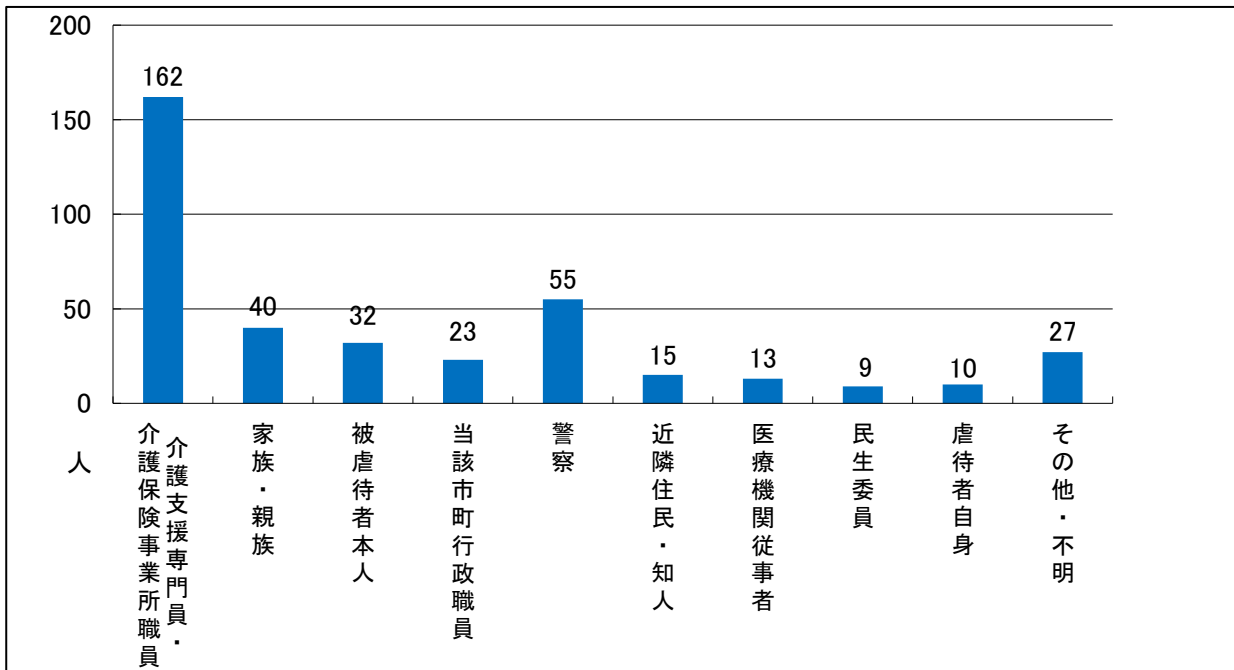


2 養護者による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養護者による虐待の相談・通報件数は、466件で、相談・通報者数は386人でした。相談・通報者386人を相談・通報者別に整理すると、うち、162人(42%)が介護支援専門員・介護保険事業所職員によるものです。

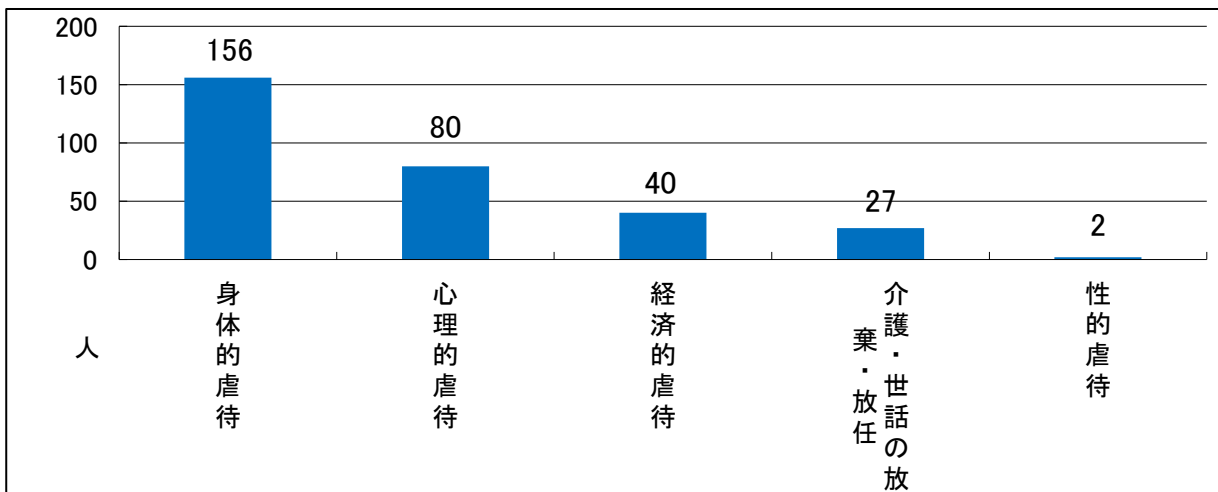
図2-1 養護者による虐待にかかる相談・通報の相談・通報者別内訳(複数回答)



(2) 虐待の種別

- ・ 養護者による虐待を受けたと判断した事例は200件で、被虐待者数は207人でした。被虐待者数200人のうち、もっとも多いのが身体的虐待で156人(75.4%)です。

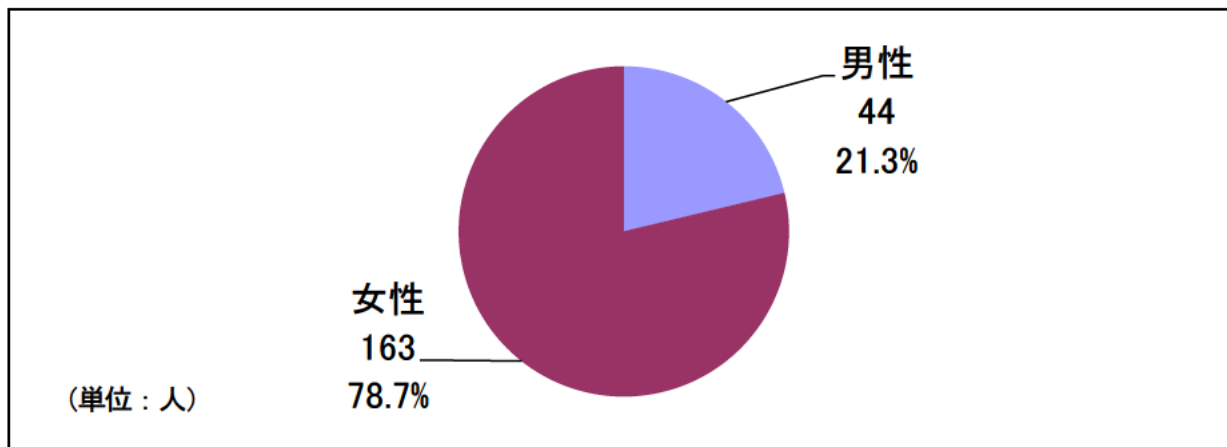
図2-2 虐待の種類(複数回答)



(3) 被虐待者の性別

- 被虐待者数207人のうち、女性が163人（78.7%）、男性が44人（21.3%）です。

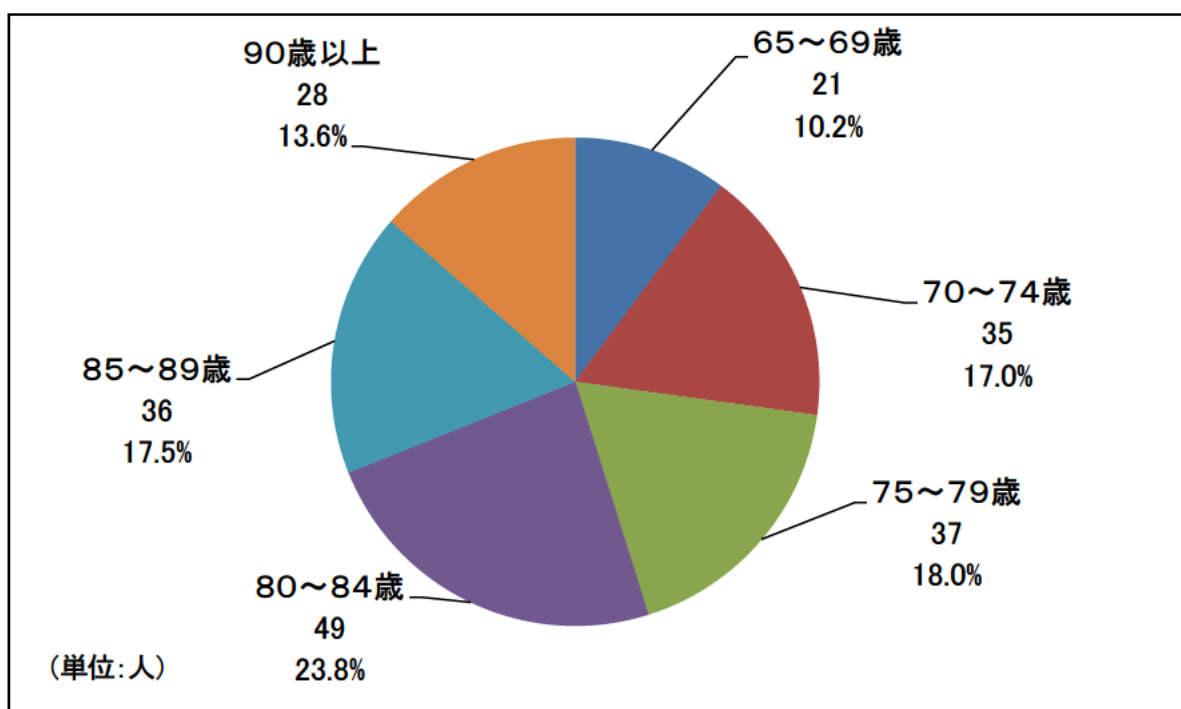
図2-3 被虐待者の性別



(4) 被虐待者の年齢

- 被虐待者数207人のうち、80～84歳が最も多く、49人（23.7%）です。

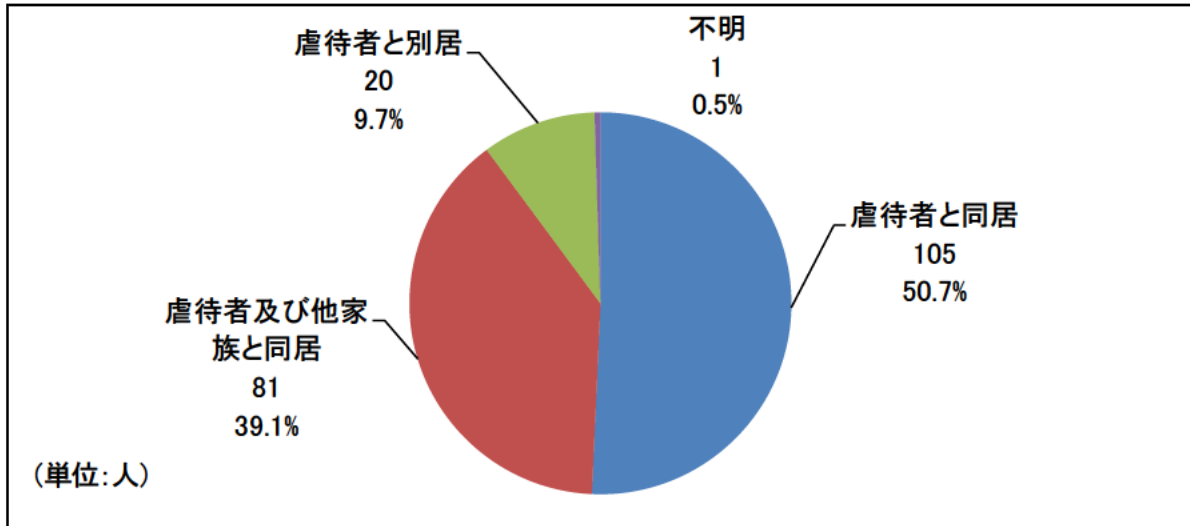
図2-4 被虐待者の年齢



(5) 虐待者との同居・別居

- 被虐待者数207人のうち、虐待者と同居（虐待者及び他家族との同居を含む）が186人（89.8%）という状況となっています。

図2-5 虐待者との同居・別居の状況



(6) 世帯構成

- 被虐待者数207人のうち、最も多い世帯構成は、未婚の子と同居の60人（29.0%）次に夫婦のみ世帯の44人（21.3%）となっています。

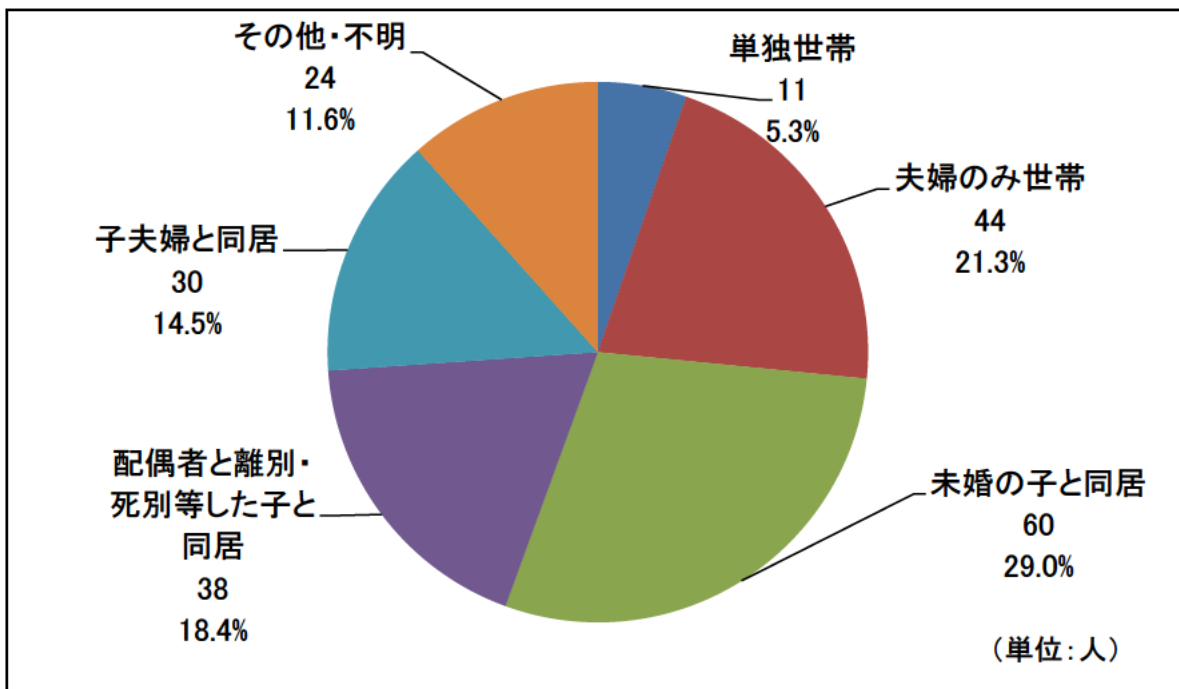
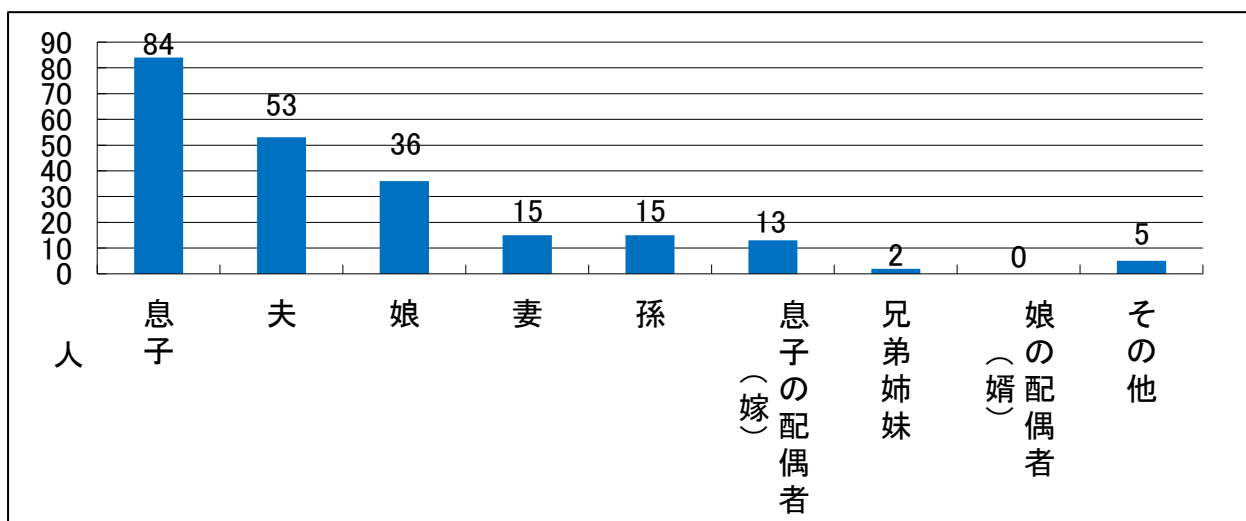


図2-6 世帯構成

(7) 被虐待者から見た虐待者の続柄

- 被虐待者数207人のうち、最も多い虐待者の続柄は息子で84人(37.7%)という状況です。

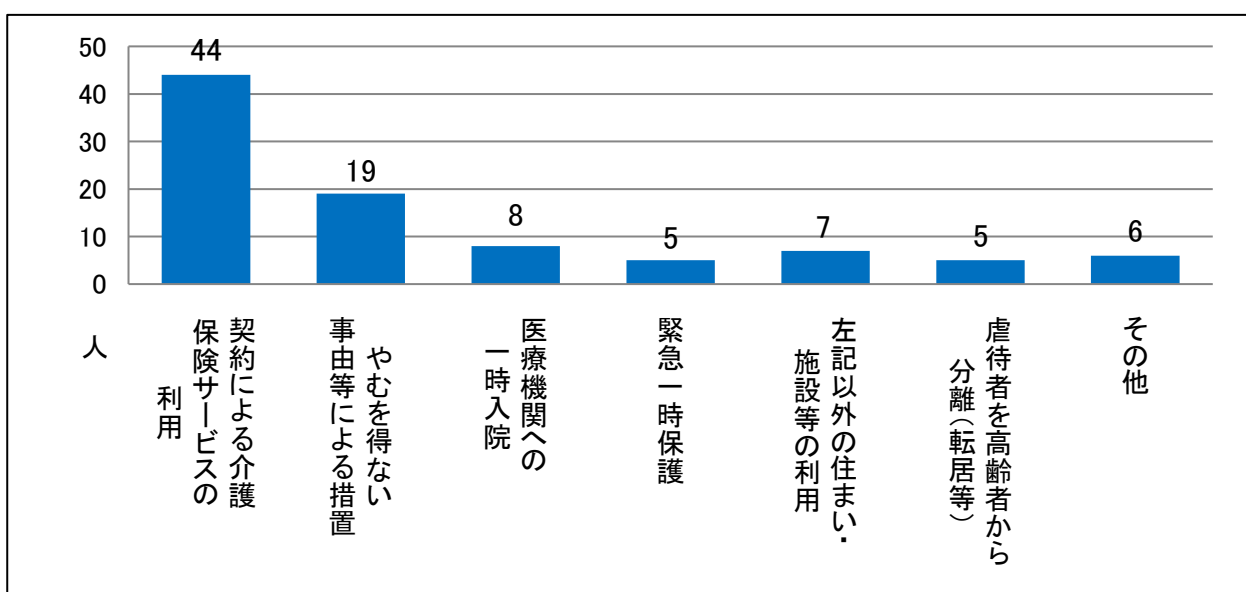
図2-7 虐待者の続柄(複数回答)



(8) 分離を行った事例の対応内訳

- 養護者による虐待を受けたと判断した事例で、平成30年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った事例の被虐待者数は94人でした。(ただし、この事例の中には、平成29年度に虐待と認定し対応が平成30年度となった事例も一部含まれています。)
- なお、分離を行った場合の対応内容(最初に行った対応)で最も多いのが「契約による介護保険サービスの利用」で44人(46.8%)です。

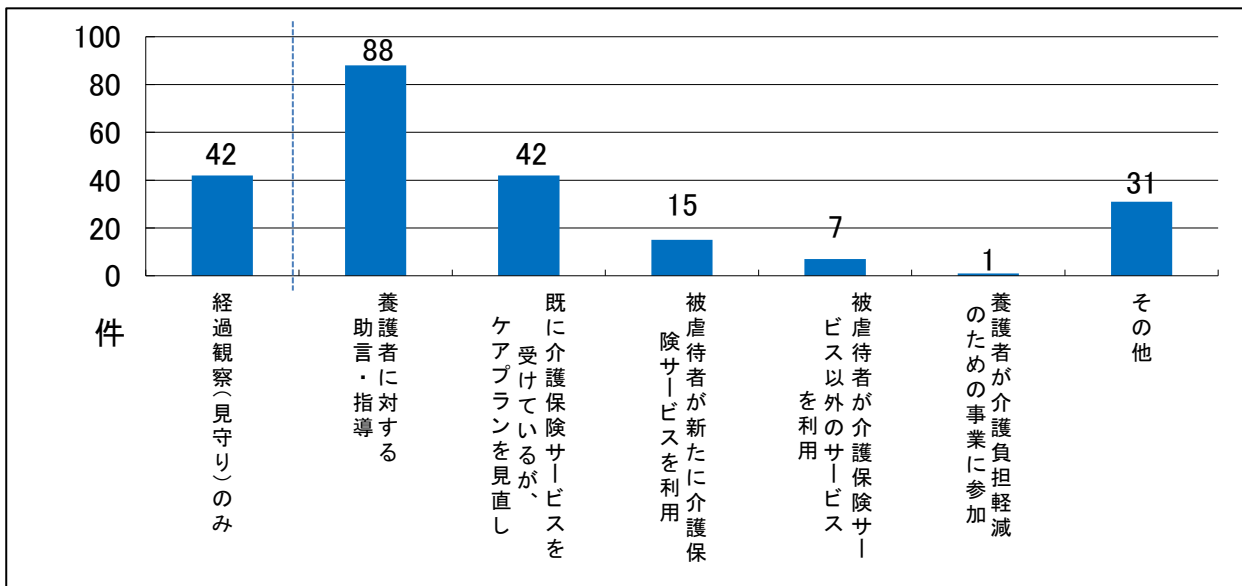
図2-8 分離を行った事例の対応内訳



(9) 分離していない事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又と判断した事例で、平成30年度中に被虐待者を虐待者から分離していない事例は累計226件で、被虐待者数は163人でした。(ただし、この事例の中には、平成29年度に虐待と認定し対応が平成30年度となった事例も一部含まれています。)
- ・ 分離をしていない場合の対応内容では、経過観察(見守り)のみが42件(25.8%)であり、経過観察(見守り)のみ以外の対応のうち最も多いのは「養護者に対する助言・指導」で88件(54.0%)です。

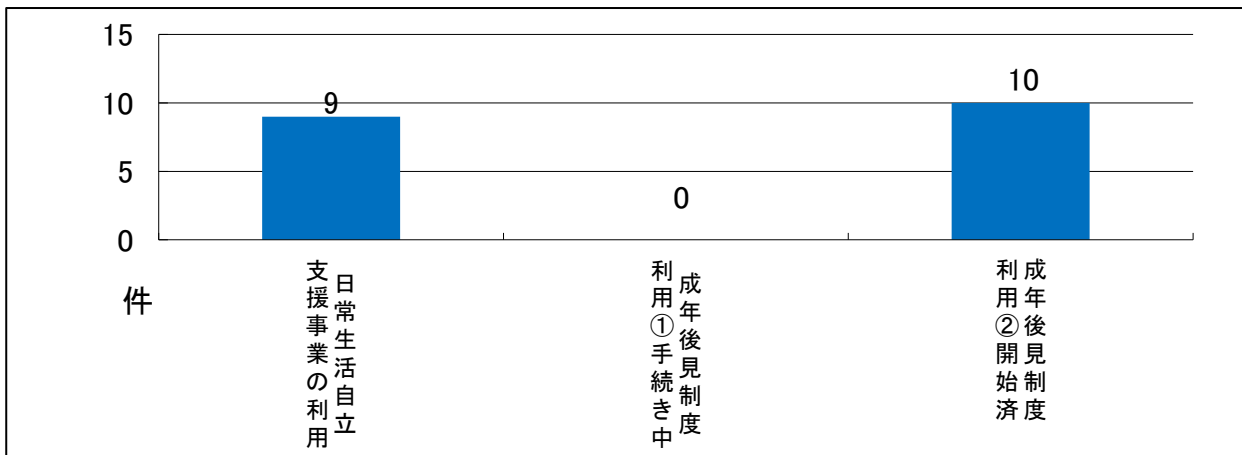
図2-9 分離していない事例の対応内訳



(10) 権利擁護に関する対応

- ・ 養護者による虐待を受けたと判断した事例で、平成30年度中に権利擁護に関する対応を行った事例が19件あり、その内訳は次のとおりです。
- ・ 成年後見制度を利用した対応10件のうち、市町長申立事例は9件ありました。

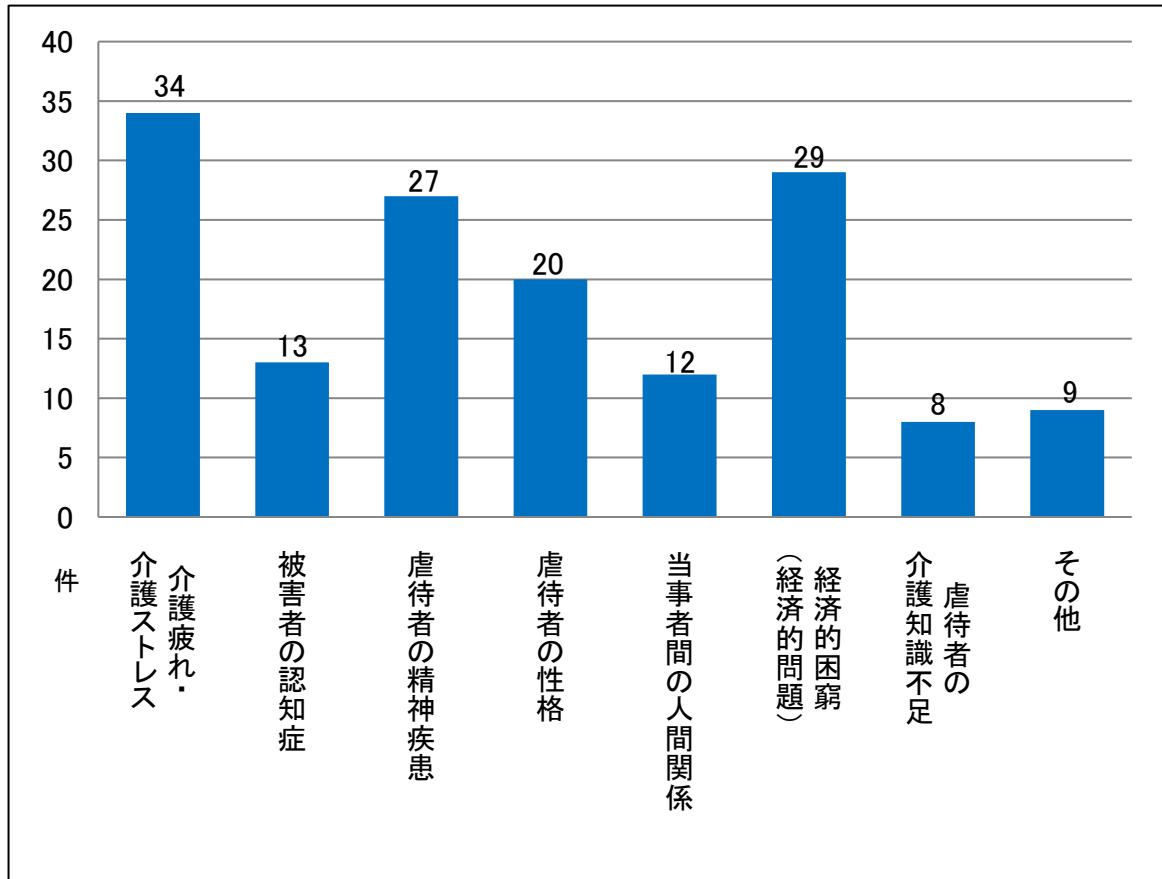
図2-10 権利擁護に関する対応内訳



(11) 虐待の発生要因

- ・ 養護者による虐待を受けたと判断した事例200件（被虐待者数207人）のうち、虐待の発生要因の回答があった129件について、主な要因別に整理すると、次のような結果になります。

図2-11 虐待の発生要因(複数回答)

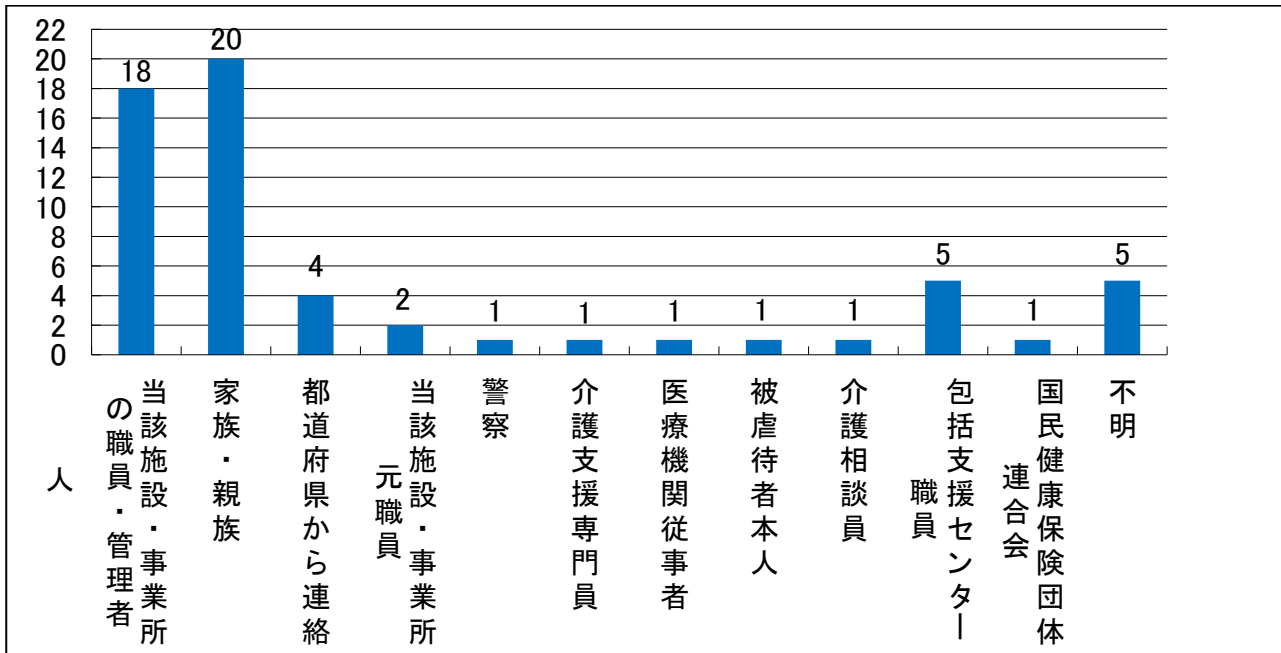


3 養介護施設従事者等による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報があった53件を相談・通報者別に整理すると、次のような結果となります。

図3-1 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報の
相談・通報者別内訳(複数回答)



(2) 施設・事業所および虐待の種別

事実確認を行った事例44件のうち、虐待を受けたと判断した事例は12件で、被虐待者数は21人です。

虐待があった施設・事業所のサービス種別は「特別養護老人ホーム」が2件、「介護老人保健施設」が3件、「有料老人ホーム」が7件です。

虐待種別は「身体的虐待」が18人、「介護等放棄」が1人、「心理的虐待」が4人、「経済的虐待」が2人です(複数種別あり)。

(3) 虐待の発生要因

虐待を受けたと判断した事例12件の発生要因としては、「教育・知識・介護技術等に関する問題」5件、「職員のストレスや感情のコントロールの問題」1件、「人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ」2件、「倫理観や理念の欠如」4件でした。

(注1)「図1-1 平成30年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数(市町別)」において、平成28年度以降の件数には「本調査年度内に、通報等を受理した事例」のほか、「対象年度以前に通報等を受理し、事実確認調査が対象年度となった事例」及び「対象年度以前に通報受理・事実確認した虐待事例で、対応が対象年度となった事例」も含まれます。

4 虐待を受けたと判断した事例の概要について

●養護者による高齢者虐待

				H30	H29	H28	
養護者による高齢者虐待件数(件)				200	227	222	
相談・通報者(人) ※主な相談者	介護支援専門員・介護保険事業所職員			162	153	177	
	家族・親族			40	44	53	
	被虐待者本人			32	34	40	
	当該市町行政職員			23	36	39	
	近隣住民・知人			15	21	17	
	民生委員			9	18	9	
高齢者虐待 の状況 (人)	性別	男性		44	57	42	
		女性		163	179	186	
	被虐待者 の状況	年齢階級	65～69歳		21	24	22
			70～74歳		35	31	38
			75～79歳		37	48	47
			80～84歳		49	46	57
			85～89歳		36	61	44
			90歳以上		28	26	20
	高齢者虐待 の類型(重 複あり)	身体的虐待			156	169	160
		心理的虐待			80	92	109
		経済的虐待			40	56	50
		介護等放棄			27	51	38
		性的虐待			2	1	2
	虐待者との同居				186	205	196
	世帯構成	子(未婚の子、配偶者と離別・死別等した子、既婚の子)と同居			128	142	131
	被虐待者から見た続柄 ※主な続柄	息子			84	94	88
		夫			53	55	58
娘			36	45	53		
孫			15	15	13		
嫁			13	8	12		
婿			0	1	0		
兄弟姉妹			2	6	1		
高齢者虐待に対し て取った措置(件)	分離を行った事例		契約による介護保険サービスの利用	44	35	30	
	分離を行わなかった事例		養護者に対する助言・指導	88	92	88	

●養介護施設における従事者等による高齢者虐待

			H30	H29	H28		
養介護施設における従事者等による高齢者虐待件数(件)			12	10	4		
高齢者虐待 の状況 (人)	被虐待者 の状況	性別	男性	5	5	2	
			女性	11	38	16	
		年齢階級	65～69歳	2	2	0	
			70～74歳	4	1	1	
			75～79歳	2	0	1	
			80～84歳	1	8	4	
			85～89歳	4	18	7	
			90歳以上	4	14	3	
			不明	4	0	2	
		要介護度	自立	1	1	0	
			要支援1	0	1	0	
			要支援2	0	0	0	
			要介護1	2	2	0	
			要介護2	2	4	3	
			要介護3	1	3	2	
			要介護4	4	14	6	
			要介護5	2	18	5	
			不明	9	0	2	
		身体的虐待			18	41	16
		介護等放棄			1	34	16
心理的虐待			4	2	15		
性的虐待			0	0	0		
経済的虐待			2	1	0		
高齢者虐待に対して取った措置 (重複あり)(件)			施設等に対する指導	12	11	8	
			施設等からの改善計画の提出依頼	15	13	8	
			従事者等への注意・指導	9	11	5	
その他の事項	虐待があった施設 等の種別(件)	特別養護老人ホーム・養護老人ホーム	2	1	3		
		有料老人ホーム	7	2	1		
		老人保健施設	3	4	0		
		短期入所施設	0	1	0		
		訪問介護	0	0	0		
		軽費老人ホーム	0	2	0		
	虐待を行った要介 護施設従事者等 の職種(人)	介護職	8	10	2		
		施設長	1	1	2		
		管理職	0	0	1		
		看護職	0	0	0		

